

令和2年度（2020）

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園

専門学校 穴吹工科カレッジ

令和3年2月5日

学校法人穴吹学園
専門学校 穴吹工科カレッジ
学校関係者評価委員会

学校関係者評価報告書

学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹工科カレッジ学校関係者評価委員会は、令和元年度学校自己評価に基づく学校関係者評価を実施いたしましたので、ご報告致します。

1. 学校関係者評価の目的

より実践的な職業教育の質を確保するため、教育活動の観察や意見交換等を通じて、専門学校 穴吹工科カレッジの自己評価の結果を評価することを目的とした委員会を置く。

委員会は、穴吹工科カレッジが行った教育活動及び学校運営の状況についての自己評価の結果を踏まえた本校の評価を行い、その結果を校長に報告する。

2. 学校関係者評価委員会

(委員)

野崎 敬三 野崎自動車株式会社 代表取締役社長
宮崎 康則 香川県自動車整備振興会 香川県自動車技能教育センター課長
山本 昌弘 元香川県立高等学校校長
新家 勇司 東四国スバル株式会社 工場長 (穴吹工科カレッジ 卒業生)
長尾 未香 穴吹学園保護者会支部長

(学校教職員)

眞鍋 卓照 専門学校 穴吹工科カレッジ校長
清水 泰 専門学校 穴吹工科カレッジ副校長
大門 剛 専門学校 穴吹工科カレッジ教務部長

3. 学校関係者評価委員会実施日時

開催日時 令和3年1月28日(木) 19:00~20:00

開催場所 学校法人穴吹学園 専門学校 穴吹工科カレッジ 303教室

4. 自己評価結果の説明・報告(自己評価報告書参照)

当校の「教育理念」、「目的」及び「令和元年度の目標と計画」について説明。各自己評価項目について「評価結果(総括)」と「取組状況とその分析」、「今後の改善方策等」について報告。書式は、香川県版一般社団法人香川県専修学校各種連合会様式にて実施。

各評価項目について、「A」十分である 「B」おおむね十分である 「C」やや不十分である 「D」不十分である の4段階にて評価。

5. 年間スケジュールに基づく、取組等の説明

- ① 動員効果があるオープンキャンパスの実施
- ② 教員の学生対応力の向上
- ③ 国家試験対策の実施
- ④ 退学率の減少

6. 意見交換、質疑応答

○自己評価結果の総評について

全体的な評価は「A」になっているが、入学者数に関して目標数を超えていないが、留学生が増えたためよくなっている。退学率は、目標を少し超えており、入学者数、退学率の双方とも今後の課題である。

○地域社会との交流の項目が少し悪く今後の課題として、ボランティア活動（道路の清掃活動等）を継続的に活動することにより社会貢献できれば良いと思っている。

○進路指導や就職指導は良好で、就職先の企業様と連携を取りながら進めている。また、離職率の低下や卒業後の研修等は、各企業内での研修等により卒業研修などを、本校にて実施しなくてもよい状況になっている。

○学生募集については、日本人希望者の減少や留学生に対して自動車整備士の重要性について理解を深めてもらう必要性などの課題がある。日本人学生を増やすために、小学生の時から動機付けが必要不可欠であり、学校だけでなく自動車業界全体での取り組みが必要である。併せて、入学後の退学防止対策を進めることや留学生の学習だけでなく生活面での指導方法についての対策も検討課題である。

〈委員からの意見〉

○日本人学生を増やす対策について。

→オープンキャンパスへの参加を促すと共に、高校訪問を実施し自動車業界・自動車整備士の必要性を継続して説明しているが、結果としてよくない。自動車に興味をもってもらえるようなイベント内容を構築し社会の中で自動車整備士の仕事は重要な位置付けであることをもっと知ってもらいたい。

○退学を防止するための取り組みについて

→基礎学力を向上させるために授業とは別に補講を実施。苦手意識を少しでも取り除くようなカリキュラムを取り入れている。また、教員間で情報の共有をすすめている。

留学生に対しては、学習面だけでなく生活指導も行い退学を防止する。

以上